

一般社団法人日本人間工学会第8回理事会 議事録

1. 開催日時：平成22年10月22日（金） 17:30～20:00

2. 開催場所：日本大学理工学部駿河台キャンパス5号館2F 524会議室

3. 出席者：

・理事会構成員(27名・定足数14名以上)

(理事)：齊藤進(理事長・文科省科研費)、阿久津正大(副理事長・表彰)、青木和夫(学術会議・横幹連・人間工学専門家認定機構長・文科省科研費)、石田敏郎、大久保堯夫、岡田明(財務)、垣本由紀子、岸田孝弥、小松原明哲(編集・子どもの人間工学委員長)、斎藤真、酒井一博(横幹連・企業の人間工学教育のあり方検討委員長)、三林洋介(財務)、外山みどり(総務)、土屋和夫、堀江良典(国際) [15名]

(理事兼支部長)：北村正晴(東北)、八田一利(総務・関東)、萩原啓(関西)、長谷川徹也(九州・沖縄) [4名]

[計：19名]

(欠席者)：大須賀美恵子(学術会議)、小谷賢太郎、富田豊、福田康明、吉武良治(広報・テレワークアドバイザー)、横山真太郎(北海道)、横森求(東海)、村田厚生(中国・四国)

・監事：大内啓子

・オブザーバー：河合隆史(第52回大会長)、藤田祐志(国際人間工学連合PSE・人間工学技術戦略)

・事務局：栗田紀子、青木彩

4. 議事概要

定足数14名を超える19名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した。定款に従い、理事長が議長となり議事を進めた。なお議事録署名人として議長、大内監事のほか、八田総務理事が指名され承認された。

【審議事項】

(1) 第1号議案 一般社団法人日本人間工学会第6回理事会議事録(案)、第一回定時社員総会議事録、第7回理事会議事録(案)について

上記3件の議事録案が承認された。なお、次回から議事録案についてはメール審議を経たのち、報告事項にて扱う。

(2) 第2号議案 理事会でのメール審議等の原則について

前回理事会で承認されたメール審議について、理事長よりその実施方法が提案され承認された。

(3) 第3号議案 理事会開催の時間帯について

次回理事会分から日程調整の候補として早い時間帯も入れることが理事長より提案され、承認された。

(4) 第4号議案 2012年度開催の第53回大会大会長について

理事長より第53回大会の大会長の自薦・他薦状況について説明があり、議論の結果九州大学の栃原

裕氏と決定した。なお、第 54 回大会については日本大学で行うことが話題となった。

- (5) 第 5 号議案 ヒューマンインタフェース学会の倫理規程縮約版への協力について
すでにメール審議を実施している、上記学会の倫理規程作成への協力について承認された。
- (6) 第 6 号議案 薄型テレビの視聴条件に関する人間工学ガイドライン検討委員会の設置について
成蹊大学の窪田悟氏を委員長とする上記委員会の設置が理事長より提案され、承認された。活動期間は 2 年間の予定 (2010. 11. 1~2012. 10. 31)。
- (7) 第 7 号議案 名誉会員推薦細則の改定について
法人化による学会名や総会名の変更などの表記のみの修正が総務より提案され、承認された。
- (8) 第 8 号議案 名誉会員推薦について
名誉会員として大橋信夫氏の推薦があった。総務から本人の了解を得た旨報告があり、次回の社員総会に名誉会員候補として推薦することが承認された。
- (9) 第 9 号議案 平成 22 年度優秀研究発表奨励賞の選考結果について
第 51 回大会 (札幌) での研究発表について、最優秀賞候補 1 件、優秀賞候補 4 件が表彰委員会より提案され、承認された。
- (10) 第 10 号、11 号議案 大島正光賞選考及び授与規程及び研究奨励賞選考及び授与規程の改定について
表彰委員長より上記の 2 規程の改定が提案され、継続審議となった。なお、両賞の選考は表彰委員会
が実施することが確認された。
- (11) 第 12 号議案 論文賞候補論文選考のための原著論文評価および推挙のお願い文について
表彰委員長より表題の文書の内容について説明があった。なおこの議案は報告事項とする。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 会勢報告

2010 年 9 月末現在、会員数 1904 名 (4 月に比べ 44 名増)、賛助会員 36 社 37 口 (同、1 社 1 口減)

(1-2) 第二期 JES 登記報告

7 月 13 日に再登記が終了。

(1-3) 第 51 回大会報告

第 51 回大会では参加者数約 440 名、懇親会参加者数約 140 名の盛会であった。合わせて会計報告、ポスター優秀賞受賞者の報告があった。なお、6 月 28 日に大会事務局より寄付金 10 万円が寄せられ、財務担当理事より謝意を伝えた。

(1-4) 2010 年度の JES 公開講座

12月5日(日)、関西支部大会にて安全をテーマに「事故防止のヒューマンファクターズ・アプローチ―第一線からの防止対策の紹介―」を開催する。岡田財務担当が本部を代表して対応する。

(1-5)賛助会員の入会

1社1口(中外製薬株式会社)の入会があった。

(1-6)大会講演集のJ-Stageへの掲載

JES事務局からドーモ社宛に未掲載分大会講演集の掲載を要請したところ、第49回大会は10月末頃、第50回大会は12月末頃、第51回大会は2月末頃に掲載の予定との回答があった。

(1-7)学会事務局の移転

10月30日(土)に同ビル内の2階に移転の予定。住所、電話番号、メールアドレスは不変、ファックスの番号は変わる。大まかな費用総額は70万円程度であり、予備費からの支出とする。

(2)財務報告 平成22年度上半期の収支について

正会員収入、購読料収入、利息収入が昨年度よりやや少なめ、支出は順調である。

(3)横幹連合臨時総会・学会長懇談会報告等について(横幹連担当)

「学会連携による課題解決」で取り上げられているテーマへの参加と、新たなテーマの提案が求められている。また、第5巻1号を人間工学の特集号にするので、協力をお願いする。

(4)科研費細目表への提案(文科省科研費担当)

「平成25年度公募から適用する『系・分野・分科・細目表』に関する提案及びその根拠となるデータ等について」を8月末に提出した。

(5)大島正光名誉会長お別れの会

青木和夫理事よりお別れの会の概要について説明があり、謝意が述べられた。

(6)第52回大会準備状況報告(第52回大会大会長)

9月1日(水)に準備委員会を開催した。年内に運営委員会を開催する予定。

(7)担当・委員会報告

(7-1)広報委員会、ニーズ対応委員会

・支部大会講演集のweb掲載について

理事長・副理事長・広報委員長・ニーズ対応委員会委員長の連名で、「支部大会講演集のWeb掲載依頼について」と題する依頼文書を支部長宛てに10月15日付で発送した。

(7-2)編集委員会

・編集委員会報告

学会誌発行状況、軍事研究に関する論文の取り扱いについての経緯とそれに対する第二期編集委員会の対応について説明があった。なお、学会誌のJ-Stage掲載は、理事長を責任者としてJES事務

局で行うこととした。

(7-3) 国際協力委員会

- ・ IEA Council Meeting 2010 in Bruges 参加報告

英・米国学会の名称変更、ライトハウスプロジェクトへの JES 基金寄与への言及があったこと、IEA 事務局のリアル化などの報告があった。詳しくは学会誌に掲載予定。

- ・ JES/ESK シンポジウム

第 52 回大会（早稲田）での 2011 日韓シンポの準備状況報告及び担当者の紹介があった。長年の功績に対する表彰を検討する方向である。

(7-4) 国際人間工学連合 PSE 担当

- ・ IEA Council Meeting 2010 in Bruges 参加報告

上記ミーティングにおいて PS&E 委員会の現状を報告した。特に専門家の認定関係、GPDB 関係、Directory 関係について、組織、計画等を紹介した。

(7-5) ISO/TC159 国内対策委員会

- ・ ISO/TC159 国内対策委員会活動報告

委員会から提出された資料を本理事会にて確認した。

(7-6) 表彰委員会

- ・ 表彰委員会報告

第 3 回表彰委員会を開催した。今後、国際表彰の広報と推薦への対応を積極的に進める。

- ・ 平成 22 年度優秀研究発表奨励賞の受賞者のお知らせについて

最優秀賞 1 件、優秀賞 4 件を決定した。次回からメール審議を利用し、より早い時期に表彰することを検討する。

(7-7) 人間工学専門家認定機構

2010 年度資格認定試験（A 方式）には 7 名、専門家試験（B 方式）には 4 名、準専門家試験（書類審査）には 12 名が合格した。

(8) 支部報告

(8-1) 北海道：(1-3) 第 51 回大会報告参照。

(8-2) 東北：8/21 に主催研究会を、9/12 に共催シンポジウムを開催した。

(8-3) 関東：12/4、5 に関東支部第 40 回大会を東海大学高輪キャンパス（西口宏美大会長）にて開催する。

(8-4) 東海：10/30 に支部大会を名古屋工業大学にて開催する。

(8-5) 関西：7/8 に企画幹事会を開催した。12/4、5 に関西支部大会を大阪工業大学（大須賀美恵子大会長）にて開催する。

(8-6) 中国・四国：10/30 に第 43 回中国・四国支部大会を広島大学にて開催する。

(8-7) 九州・沖縄：12/11 に支部大会を開催する。

(9) 協賛等の依頼

本理事会から協賛等の依頼は報告事項とする。

15 件の依頼について協賛する旨理事長より報告があった。

5. 閉会

以上の議事を終え、20時に閉会した。

上記の決議を明確にするため、議長、議事録署名人がこれに記名押印する。

平成22年10月22日

議 長 齊 藤 進 ④

議事録署名人 八 田 一 利 ④

議事録署名人 大 内 啓 子 ④